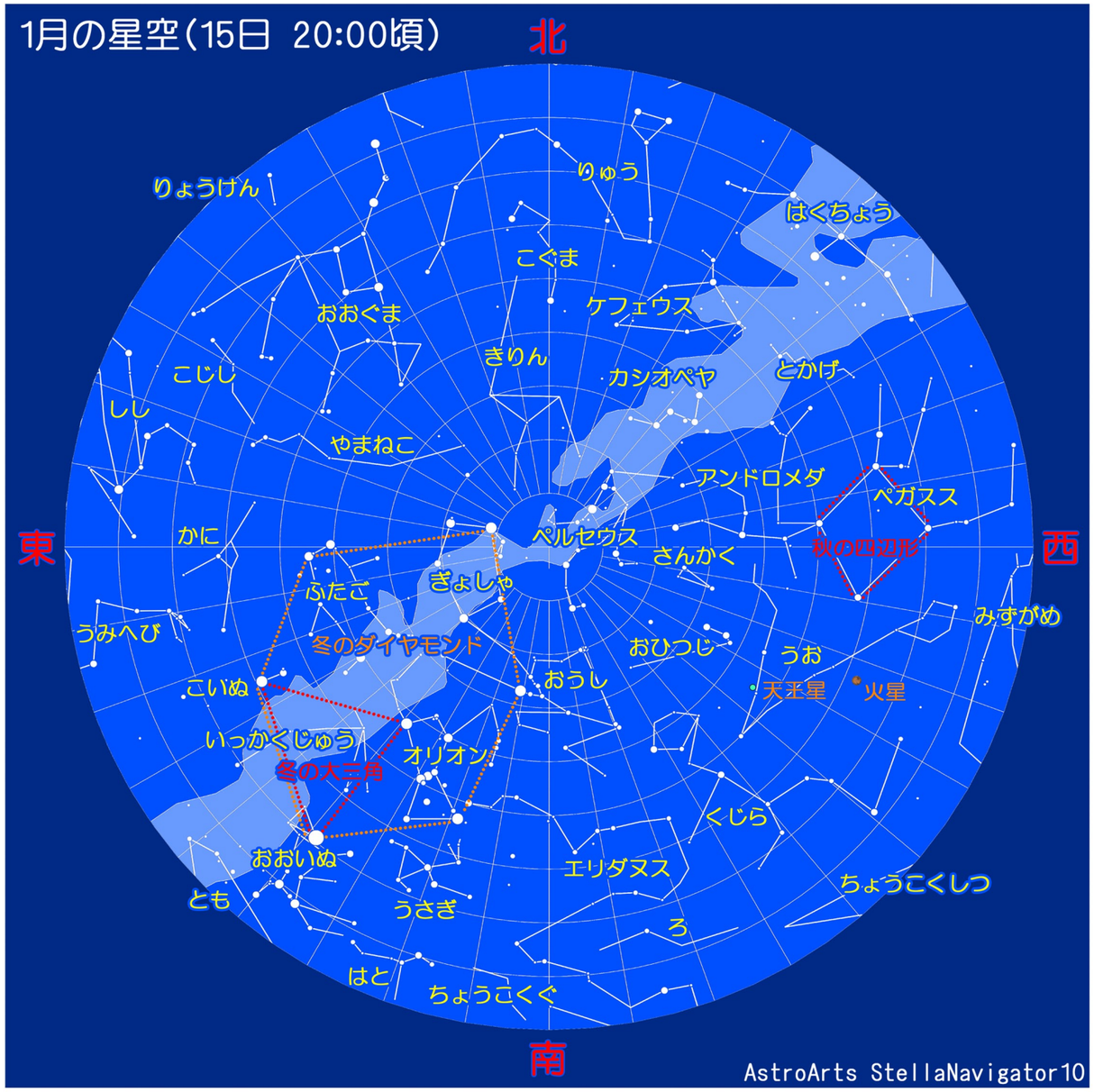
銀河の森天文台
2019年1月みどころ天体情報



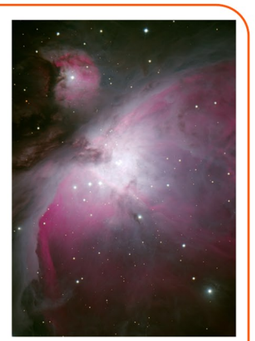
今月のイチオシ！

☆M42（散光星雲）

オリオン座の三ツ星の下、小三ツ星と呼ばれる部分の中央にあるのがM42（オリオン大星雲）です。

15cm双眼鏡では鳥が羽を広げたような形の全体像を、また、りくり望遠鏡では、生まれたばかりの星が四角く並び、その周りを星雲が取り巻く様子を見ることができます。双眼鏡・望遠鏡どちらでも美しい姿を楽しむことのできる、冬を代表する天体のひとつです。

距離：約1400光年



M42

月

		出	没
6日	●新月	06:48	16:16
14日	◐上弦	11:04	--:--
21日	○満月	16:19	06:43
28日	◑下弦	--:--	10:58

天文台から月を見ることができるのは9～23日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

天王星

太陽系の外側から２番目の惑星、天王星がうお座に見えています。淡いグリーン色が特徴的で、小さく見えますが地球の約４倍の直径があります。

太陽からの距離：約29億km

火星

昨年の夏の大接近の頃と比べて、だいぶ遠くなってしまいましたが、まだまだ火星が見えています。遠くなった分、最接近の頃と比べて、見かけの大きさは1/3以下とだいぶ小さくなってしまいました。

太陽からの距離：約2億2790万

M37（散開星団）

ぎょしゃ座にある明るい３つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

M1（超新星残骸）

おうし座にある星雲で、「かに星雲」と呼ばれています。M1は1054年に出現した超新星の残骸で、このときの超新星爆発は、日本でも「明月記」に記録が残っています。

距離：約7200光年

NGC2392（惑星状星雲）

ふたご座に位置し、毛皮のフードを被ったような姿から「エスキモー星雲」とよばれています。わずかに緑がかった青色が印象的で空の条件が良ければ、フードに例えられた部分も見えてきます。

距離：約1360光年

M44（散開星団）

プレセペ星団と呼ばれ、肉眼でも見ることができます。星団である事を発見したのは、あのガリレオ・ガリレイです。アイヌも古くからこの星団を知っておりエルムン・プ（ねずみの倉）と呼んでいました。

距離：約590光年

ちょっとマニア

- M43（散光星雲）

鳥のような姿をしたオリオン大星雲の頭の部分がM43です。M42とは別な番号がついていますが、M42とM43は同じ星雲の別々の部分であることがわかっています。

距離：約1400光年

その他おすすめ

- ウィルタネン彗星
- M45（散開星団）
- M78（散光星雲）
- M82（銀河）
- ベテルギウス（恒星）
- うさぎ座Ｒ星（恒星）
- かに座ι星（重星）

1・2月の銀河の森天文台カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日